



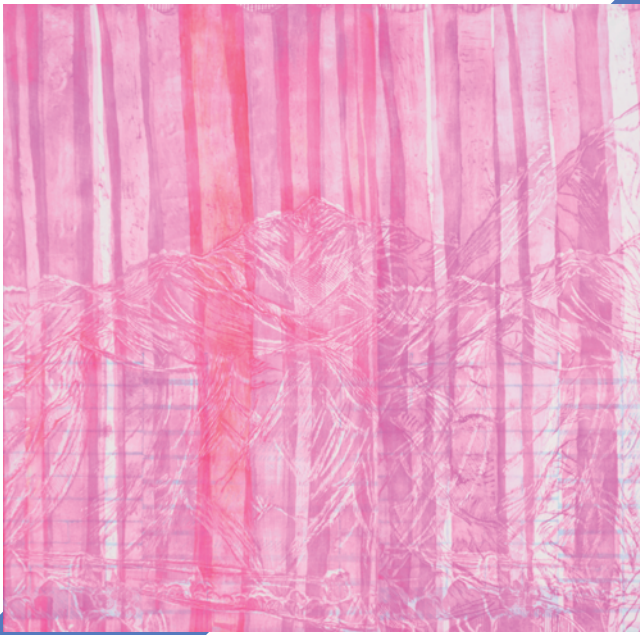
TAKATA Yudai

高田裕大〈開拓者〉



UCHIDA Ryo

内田 涼〈Flake〉



ISHIKAWA Takako

石川丘子〈カーテン、左寄せ〉

Vol.102 高田裕大展 2023.12.12(火)–2024.1.8(月・祝)

Vol.103 内田 涼展 2024.1.13(土)–2.4(日)

Vol.104 石川丘子展 2024.2.10(土)–3.3(日)

開館時間 | 10:00–19:00 (入館は18:30まで)

休館日 | 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日が休館)、  
12/29(金)–1/3(水)、1/9(火)–1/12(金)、2/5(月)–2/9(金)

観覧料 | 一般 200円、中学生以下無料  
※20名以上の団体は1人160円 ※各種障がい者手帳等提示者は無料 (付添者は1人100円)

主催 | 清須市はるひ美術館

同時開催 | 清須市はるひ美術館 収蔵作品展「小川武雄 冬を描く」

清須市はるひ美術館 〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1番地 TEL 052-401-3881  
清須市はるひ美術館はTRC・名古屋三越グループ共同事業体が管理・運営しています。

清須市  
Kiyosu City  
Haruhi Painting Triennale  
Artist Series  
はるひ絵画トリエンナーレ  
アーティストシリーズ



# 清須市

## はるひ絵画トリエンナーレ アーティストシリーズ

Kiyosu City  
Haruhi Painting Triennale  
Artist Series

### Vol.102 高田裕大 展

近年、土地の測量の仕事をしています。土地の形を明確にする為に、何年も人の出入りがなくなった土地に足を踏み入れる事も多い仕事です。土地の過去資料と現地の調査、伐採に穴掘り、家を建てるにも道を造るにも、こうした業務は計画の土台として誰よりも先に行う事になります。土地の状況は住宅、田畑、山林と色々ですが、最初に踏み入るとい事は大抵が草茫茫です。特に草木の多い土地へ分け入る時は、鎌を片手に道を拓き人知れず探検をしているような感覚になります。そんな誰にも知られずに埋もれてしまうだろう探検と測量の日々を形に残したくて、絵に描く事にしたのです。

### 2023.12.12 (火) - 2024.1.8 (月・祝)

TAKATA Yudai

1985年富山県高岡市生まれ。近年の主な活動に、2023年「川村元紀と高田裕大展」gallery N (愛知)、2022年「VOCA展2022 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」上野の森美術館 (東京)、2021年個展「測量の日々」gallery N (愛知)、2020年個展「ここは地中」ニュースペースバ (東京)、「高田裕大のドローイング展その二」music (愛知)、2018年個展「火」gallery N 神田社宅 (東京)、「足助ゴエンナーレ 足助芸術界隈」豊田市足助町古い町並み一帯 (愛知) など。

清須市第10回 はるひ絵画トリエンナーレ審査員賞 (杉戸 洋)



高田裕大 (三次元測量)

### Vol.103 内田 涼 展

### 2024.1.13 (土) - 2.4 (日)

意味が与えられる前の形や、名前を持たない色、なぞることのできない線を、いつも探している。裏と表、地と図、奥と手前の間を行き来しているうちに立ち上がるイメージを、逃さないよう努めている。それをみればあれが遠のくし、あれをつかむとそれが消えてしまうことを望んでいる。四角の中に三角が隠れていたりすることや、何かの弾みで明と暗が簡単に置き換わることを、知っていたいと願っている。わたしたちが互いに分かり合えないということ、を、ちょうどいいと思っている。

UCHIDA Ryo

1989年静岡県生まれ。2015年武蔵野美術大学油絵学科卒業。近年の主な活動に、2023年「ウォーター・クロス・スナップ、スナップ・クロス・ウォーター」NEWoMan横浜、2022年個展「夜」つつじヶ丘アトリエ (東京)、グループ展「ATAMI ART GRANT」HOTEL ACAA (静岡)、信濃大町あさひAIRレジデンス成果展「おもいっきり、水」旧金物のオビ (長野)、2021年グループ展「Re-examine」YOD Gallery (大阪)、2020年より現在までアート/空家二人 (東京)でのグループ展など。2020年「シェル美術賞2020」入選、2019年「NONIO ART WAVE AWARD」準グランプリ受賞。2023年より長野県と東京都の2拠点をベースに活動している。

清須市第10回 はるひ絵画トリエンナーレ審査員賞 (鷺田めろ)



内田涼 (ヘアアンドスネイク)

### Vol.104 石川丘子 展

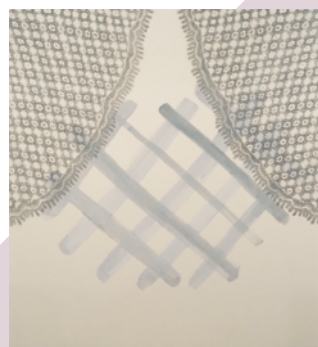
### 2024.2.10 (土) - 3.3 (日)

絶え間ない変化は、ある種の希望のように思う。不変とさえ感じる巨大な山々、その美しい稜線も日々着実に崩れ移ろう。あるいは、悠久の大河は？木の板に決定的に刻んだ線はまごうことなき同じ形を摺り写すが、入力仕方のひとつ、空間と時間の経ち方ひとつで、現れる像が変わる。版に刻んだものは、私の“見たもの”だが、“見えてきたもの”は異なる像だ。記憶は確かだろうか？場所や距離が、時や光が変わるたびに、刻々と変化する像。私はその移ろいをことごとく。

ISHIKAWA Takako

1981年埼玉県生まれ。2006年多摩美術大学絵画研究科修士課程修了。2013年中国美术学院美術学修士課程修了。近年の主な活動に、2022年個展「水を舐める」トキ・アートスペース (東京)、2020年個展「Replacing the curtains」トキ・アートスペース (東京)、グループ展「Daejeon International Print Exhibition」IGONG Gallery (韓国)、2019年レジデンス Korea International Residency Program (韓国)、2018年「中国水印刷版画大展」浙江美術館 (中国)、「中国水印刷版画文献展」江蘇省美術館 (中国) など。

清須市第10回 はるひ絵画トリエンナーレ入選 / きよす賞



石川丘子 (水を舐める)

関連イベント ※最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

#### 高田裕大アーティストトーク

12月16日(土)、1月6日(土) 各日 14:00 - (40分程度) [申込み不要]

クロストーク | 内田 涼 × 鷺田めろ (十和田市現代美術館館長、清須市第10回 はるひ絵画トリエンナーレ審査員)

2月4日(日) 14:00-15:00 [申込み不要]  
\*会場はいずれも清須市はるひ美術館 \*参加者が多い場合は人数制限を設ける場合があります。  
\*状況により開催内容が変更となる場合があります。

同時開催 | 清須市はるひ美術館 収蔵作品展「小川武雄 冬を描く」

夢広場はるひ

清須市はるひ美術館

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1番地 TEL 052-401-3881  
http://www.museum-kiyosu.jp

○電車でお越しの場合

- ・JR東海道本線「清洲駅」下車、徒歩約20分  
または「きよすあしがるバス」をご利用ください
- ・JR東海道本線「稲沢駅」下車、タクシーで約10分
- ・名鉄本線「新清洲駅」下車、タクシーで約10分

○車でお越しの場合

- ・名二環、清洲東ICより約5分
  - ・名神高速道路、一宮ICより約20分
  - ・名古屋高速道路、一宮からは春日出口より約5分、  
名古屋からは清須出口より約5分
- ※無料駐車場をご利用ください (104台)

